

会報・案内

平成14年度第1回理事会議事録

日 時：平成14年3月23日(土), 14:00~17:00
 場 所：山上会館 201, 202号室
 出 席：山田龍作会長, 隈崎達夫総務理事, 阿部公彦,
 石垣武男, 板井悠二, 打田日出夫, 酒井邦夫,
 高橋睦正, 平木祥夫, 平松慶博, 山下 孝各理事,
 小西淳二, 利波紀久各監事,
 渡会二郎第38回秋季臨床大会長
 欠 席：遠藤啓吾・増田康治各委員
 議 題

1. 前回議事録の承認
 2. 第61回日医放総会について
 - I. 総会・評議員会案内の確認
 - II. 評議員提案事項の回答について
 3. 第39回秋季臨床大会について
 4. 第62回日医放総会案内について
 5. 監事改選開票結果について
 6. 推薦評議員について
 7. 平成13年度歳入歳出収支決算について
 8. JMCPの平成14年予算について
 9. 日本医師会疑義解釈委員の推薦について
 10. 日医放事務局の充実について
 11. 会告の承認
 - 3月号 第32回放射線による制癌シンポジウム開催について
 - 4月号 平成14・15年度役員氏名(理事・監事五十音順)
平成14・15年度評議員氏名(五十音順)
平成14・15年度代議員氏名(地区別五十音順)
 - 第62回日医放総会案内I
 - 第39回日医放秋季臨床大会案内II
 - 第14回医学物理士認定試験の受験資格認定
 - 第22回神経放射線ワークショップ案内
 12. その他
- 報告事項
1. 第2回放射線影響研究功績賞選考結果及び第6回放射線影響協会奨励賞御園生賞受賞者決定について
 2. 第69回日本医学会定例評議員会報告
 3. 医学物理士検討小委員会報告
 4. 委員会報告
 1. 医療事故防止委員会
 2. 電子情報委員会
 3. 編集委員会メディカルトリビューン社からの日医放ホームページの維持管理提案(次期理事会への検討事項として申し送る件)

議 事：

1. 前回議事録の承認
前回議事録(案)を承認した。
2. 第61回日医放総会について
 - I. 総会・評議員会案内の確認
評議員会, 総会の審議事項, 進行, 分担について最終確認を行った。
 - II. 評議員提案事項の回答について
各事項について理事会の見解を確認し, 各担当理事より答弁することが決められた。
3. 第39回秋季臨床大会について
渡会大会長から平成14年10月23, 24, 25日に開催予定の日本医学放射線学会秋季臨床大会案内(II)及び各研究会案内(いずれも4月号会告)の説明があり, 了承された。
4. 第62回日医放総会案内について
小西理事より平成15年4月11, 12, 13日開催予定の日本医学放射線学会総会案内(I)(4月号会告)の説明があり了承された。
5. 監事改選開票結果について
阿部庶務理事より平成14年3月8日学会事務所において開票された結果について投票用紙発行数180票, 投票数126票であり, 阿部公彦君, 大友邦君の2名を監事, 次点として楳林勇君を決定した旨の報告があり, 承認された。
6. 推薦評議員について
定款により, 推薦評議員20名を各種条件に照らし合わせ決定し, 承認された。
7. 平成13年度歳入歳出収支決算について
酒井理事より, 平成13年度収支決算書ならびに財産目録の内容について説明があり, 質疑を行い, 小西, 利波両監事から監査結果の報告があり, 承認された。
8. JMCPの平成14年予算について
平成14年度の第61回日本医学放射線学会学術発表会への共催費は従来通りとすることが確認された。
9. 日本医師会疑義解釈委員の推薦について
田中良明君を引き継ぎ委員として推薦することが了承された。
10. 日医放事務局の充実について
山田会長より事務局にアルバイトを1名補充したとの報告がなされた。また, 事務局の充実については今後も検討を進めることとした。
11. 会告の承認
 - 3月号 第32回放射線による制癌シンポジウム開催について
 - 4月号 平成14・15年度役員氏名(理事・監事五十音順)
平成14・15年度評議員氏名(五十音順)
平成14・15年度代議員氏名(地区別五十音順)
 - 第62回日医放総会案内I
 - 第39回日医放秋季臨床大会案内II

第14回医学物理士認定試験の受験資格認定
第22回神経放射線ワークショップ案内

12. その他

報告事項

1. 第2回放射線影響研究功績賞選考結果及び第6回放射線影響協会奨励賞御園生賞受賞者決定について

山田会長より日本医学放射線学会から第2回放射線影響研究功績賞に加納永一君, 第6回放射線影響協会奨励賞御園生賞に川田哲也君が受賞された旨の報告がなされた。

2. 第69回日本医学会定例評議委員会報

隈崎総務理事より高橋理事から報告がなされた資料を基に報告がなされた。

3. 医学物理士検討小委員会報告

酒井理事より医学物理士養成検討小委員会第一回委員会の報告がなされた。連絡協議会では治療が先行しているが、本来は医学物理に関する人材養成などの検討をするための機関であるはずなので、核医学会などの分野の人にもこの協議会に入って頂きたい旨の報告がなされた。

4. 委員会報告

医療事故防止委員会

平松担当理事より2月6日に開催された委員会の報告がなされた。次回理事会に最終のマニュアル(案)を提出し、検討頂き、学会誌に掲載の方向で進めたい旨の報告がなされた。

電子情報委員会

石垣担当理事よりIHE-Jが発足したとの報告がなされた。

編集委員会 メディカルトリビューン社からの「日医放ホームページの維持管理と日医放雑誌のオンラインジャーナル化の提案」について山下担当理事より資料に基づき説明がなされた。ホームページについては広報委員会内部でメディカルトリビューン社への委託については議論があること、又、オンラインジャーナル化については他社からも提案がなされていることなどから、この件については慎重に検討するため、次期の理事会に申し送ることにした。

5. その他

平松理事より平成14年度の診療報酬改訂の結果について画像診断における保険点数の大幅ダウンについて説明がなされた。特に、読影管理料を請求できる資格として、画像診断に従事し10年の経験を要する」ということは、専門医制度を根本から覆すことであり、大変重要な問題である。この経緯を確認しながら今後日医放としてこの決定に対しどのように対応してゆか検討することとした。

平成14年度第2回理事会議事録

日 時：平成14年4月4日(木), 12:00~14:30
場 所：ポートピアホテル南館5F JRS第1会議室
出 席：山田龍作会長, 隈崎達夫総務理事, 阿部公彦,
石垣武男, 板井悠二, 打田日出夫, 遠藤啓吾,
酒井邦夫, 高橋睦正, 平木祥夫, 平松慶博,

増田康治, 山下 孝各理事

小西淳二, 利波紀久各監事,

渡会二郎第38回秋季臨床大会長

議 題:

1. 前回議事録の承認
2. 第61回日本医学放射線学会総会について
3. 平成14年日本医学放射線学会評議員会について
4. 生物部会活動報告(評議員会資料の件)
5. 放射線科専門医更新追加認定者氏名について
6. 新規学術集会認定申請単位決定について
7. 医療事故防止委員会(最終マニュアル案について)
8. JASTROから「放射線治療患者の診療歴の長期保存に関する要望(案)の改訂承認の件
9. 日本学術会議第7部医療技術開発会議報告について
10. 専門医認定協議会報告
11. 健保委員会報告
12. 会告の承認
 - 4月号会告 新規学術集会認定申請単位決定のお知らせ
13. その他
 - 1 医師以外への入会について

議 事:

議事に先立ち山田龍作会長より現理事最終の理事会開催について挨拶があり、議事進行については隈崎総務理事が行うことを提案された。

1. 前回議事録の既に行われている文書承認を確認した。
2. 第61回日本医学放射線学会総会について山田会長より総会の準備万端整ったことが報告された。
3. 平成14年評議員会について
評議員会の議事進行を確認し、評議員会提案事項の回答については再度回答事項の確認があり了承された。
4. 生物部会活動報告(評議員会資料の件)
阿部庶務理事より生物部会から平成13年度活動報告書及び平成14年度活動計画が出された旨の報告があり、これを了承し評議員会で資料として配布する事を確認した。
5. 放射線科専門医更新追加認定者氏名について
平松担当理事より放射線科専門医認定委員会の審査の結果、放射線科専門医資格更新者の件について報告がありこれを了承した。
6. 新規学術集会認定申請単位決定について
平松担当理事より放射線科専門医更新単位取得制度学術集会単位について報告がありこれを了承した。
7. 医療事故防止委員会(最終マニュアル案について)
平松担当理事より「医療事故防止のための指針」の最終案がだされ、理事会で検討後これを了承した。また、これを日医放会誌5月号およびホームページ掲載する事についての提案が出されこれを了承した。また会誌掲載後は別刷りを専門医修練機関、修練協力機関、関連学会に配布することを確認した。
8. JASTROから「放射線治療患者の診療歴の長期保存に関する要望(案)の改訂承認の件
既に承認された件について再度要望書の内容に訂正が加えられ

たのでご承認いただきたい旨JSTROから出された件について理事会で再度確認をし、これを了承した。

9. 日本学術会議第7部医療技術開発会議報告について

遠藤担当理事より3月に開催された日本学術会議第7部医療技術開発会議について資料に基づき説明がなされた。内科の中の放射線科学は画像診断と放射線治療学の2つに分割され、これらは全て医療技術開発学研究連絡委員会の担当となった。また15年度審査委員の定数・推薦数についての説明がなされた。

10. 専門医認定協議会報告

遠藤担当理事より3月に開催された専門医認定協議会について資料に基づき報告がなされた。この中で、専門医の広告が出来るようになった旨の報告があり、これについては、学会から厚生省への届け出をおこなった学会ができるのかどうかを確認することとした。

11. 健保委員会報告

遠藤担当理事より日本医師会疑義解釈委員会からの問い合わせについて報告がなされた。また厚生労働省宛に 1. 画像診断特にCT, MRI撮影料の引き上げについて, 2. 画像診断管理加算についての要望書を学会名で提出した旨の報告がなされた。

今後も学会として保険点数について要望してゆくことを確認した。

12. 次期理事会の申し送り事項

学会の執行部の継続性を持たせるために次期理事会へ文書で記録を残してはどうかとの提案がだされ、了承された。これについては4月末日締め切りとすることとした。

13. 会告の承認

4月号会告 新規学術集会認定申請単位決定の御知らせ

14. その他

1) 医師以外の入会について

阿部庶務理事より医師以外の入会者について説明がなされた。

理事会で検討後1名の方は承認、もう1名の方については規定の問題があるので今後検討することとし保留とした。規定案の作成を医学物理士認定委員会で作成し理事会に提案することとした。

2) Radiation Medicineへの英文抄録及びプログラムについて

山田会長より今回Radiation Medicineへ総会の抄録及びプログラムを掲載した旨の報告がなされた。理事会で検討後、これについては今後も継続で作成して頂けるよう検討して頂く旨申し送り事項に含めていただくことを確認した。

3) 用語集について

平木担当理事より用語集が3月末に発行された旨報告がなされた。

隈崎総務理事より今期最後の理事会終了の挨拶がなされた。

出席：古賀佑彦(委員長), 石口恒男, 入船寅二, 岩波 茂, 金子昌生, 日下部きよこ, 西澤かな枝(佐々木康人代理), 藤岡睦久, 吉田祥二各委員

欠席：阿部公彦(担当理事), 石垣武男(担当理事), 草間朋子, 佐々木武仁, 高山 誠, 竹田 寛, 中村仁信, 新部英男, 平松慶博, 町田喜久雄各委員

議 事:

1. 新しい防護委員会の構成について

古賀委員長より委員長辞任の申し出があり、協議の結果、石口副委員長が後任に推薦された。古賀委員長は今後も委員として活動することが確認された。

2. 今年度の活動方針について

IVRにおける過剰被ばくおよび小児CTの被ばくへの対応, ICRP第3委員会への協力, 日医放ホームページの被ばくに関する質問への対応, 放射線防護に関する啓蒙(ガイドライン等の整備を含む)などを引き続き行うこととなった。医学物理学会との共同研究として、「IVRにおける線量評価マニュアル整備のための基礎的調査」を行うこととなった。今年度は、放射線科専門医修練機関(320施設)を対象に線量計保有状況の調査が予定されている。

平成14年度第1回乳房撮影委員会議事録

日 時：平成14年4月4日(木), 12:00~13:00

場 所：神戸国際会議場304会議室

出席：遠藤登喜子(委員長), 岡崎正敏, 川島博子, 角田博子, 東野英利子, 藤光律子

欠席：石垣武男(担当理事), 松本満臣, 石橋忠司, 平岡真寛, 西谷 弘

議 題:

1. 平成13年度第5回乳房撮影委員会・第3回デジタルマンモグラフィ評価基準作成小委員会および平成13年度第6回乳房撮影委員会・第4回デジタルマンモグラフィ評価基準作成小委員会議事録(案)について

異議なく了承された

2. マンモグラフィ検診精度管理中央委員会活動報告

精度管理中央委員会活動：活動報告書の作成と関連団体への配布

同教育・研修委員会活動：

- ・平成13年度には17回の読影講習会開催(その他に技術講習会も開催), 現在受講医師は1,944名(うち放射線科医は377名)
- ・平成14年度4月現在で11回の講習会開催は確実に今後増加する見込み

同施設画像評価委員会活動：

- ・平成13年度評価を開始, 現在87施設が評価を受けた。約7割が合格
- ・平成14年度は200施設評価を目標とする
- ・100施設を超えたところで公開する

2. デジタルマンモグラフィ評価基準作成小委員会の活動報告

平成14年度第1回放射線防護委員会議事録

日 時：平成14年4月4日(木), 12:00~13:00

場 所：神戸国際会議場303号室

平成14年1月11日、25日の両日、10名の医師と10名の協力者(技術学会・物理学会および工業会の協力)により、CDMAM、ACR156および156Sファントムの画像評価を行い、小寺委員により解析が進められている。

ACRファントムとCDMAMファントム評価との相関は腫瘍ではあるが石灰化では見られない。

存在の認識では20%低線量群では劣っていた。

形状の認識ができるファントムがないので、ファントムの開発が必要

明らかに劣っているデジタルシステムを使っている施設からの資料収集を行う

3. 今年度の活動

ハードコピーの評価基準作成の基本方針は変更しない。

平成13年度に行った実験の追加実験を行う。

ファントム作成も試みる。

次回委員会は6月14日15時~17時 国立名古屋病院にて開催する。

医学物理士認定制度の改革については医学放射線物理連絡協議会で取り扱われることになったが、更に具体的な検討を行うためのグループとして、連絡協議会の中に「物理技術的QAを担う人材の養成を検討する小委員会」が発足した。日本医学放射線学会よりは池田恢先生が参加される。また本委員会の丸橋委員もメンバーなので、意見があれば両委員を通して協議会および小委員会に申し入れることにする。

6. 短大および専門学校卒の診療放射線技師の学会入会の際の参考にするため、医学物理士の受験資格認定の基準を理事会へ知らせよう依頼があった。(酒井担当理事より)左方前委員が規定等の内容をまとめて事務局に送付する。

7. 医学物理学講習会について

医学物理士認定試験受験者のための表記の講習会が、日本医学物理学会および医学物理士会の主催により8月下旬に行われる予定である。本委員会委員にも協力を宣しくお願いしたい旨、丸橋委員より要請があった。

8) 次回の委員会は8月10日(土)、次々回の委員会は10月12日(土)、いずれも学士会赤門分館にて行う。

第54回(平成14年度第1回) 医学物理士認定委員会議事録

日時: 平成14年4月4日(木), 12:00~13:30
場所: 神戸国際会議場 3F, 305号室
出席: 佐方周防(委員長), 酒井邦夫(担当理事),
今村恵子, 岩波 茂, 駒谷昭夫, 鈴木 豊,
丸橋 晃委員
欠席: 秋山芳久, 内田 勲, 佐々木武仁, 河野 敦,
田中良明, 平岡 武委員

1. 委員の交代および新委員長の選出について

尾川委員が駒谷委員へ、佐方委員が丸橋委員に交代した。また、委員の任期の更新時期に当たるので、委員の互選により今村恵子委員を委員長に選出した。

2. 第16回医学物理士認定試験について

受験資格認定の募集を7月末締め切りで行う。会告の掲載を日医放事務局に依頼済である。第55回認定委員会において受験資格を審査し、試験問題作成およびチェックの担当も決定する。

認定試験の受験者の募集を8月末締め切りで行う。会告の掲載を依頼する。認定試験は、10月12日(土)に実施し、その後で第56回認定委員会を開き合否判定を行う。試験会場は学士会赤門分館を予定する。

3. 第5回医学物理士更新認定について

本年は第5回医学物理士更新認定の年なので、そのための業績評価調査を日本医学物理学会医学物理士対策委員会(丸橋晃委員長)に依頼する。例年通りに行われるならば、本年度末に医学物理士の資格が更新認定される。

4. 第2回医学物理士永年資格の認定について

本年度中に、第2回の医学物理士の永年資格認定を行う。(佐方前委員が担当する)

5. 医学物理士認定制度の改革について(丸橋委員より)

平成14年度第1回教育委員会議事録

日時: 平成14年4月5日(金), 7:00~8:00
場所: ポートピアホテル南館 4F やわらぎ
出席: 高橋睦正(担当理事・委員長), 小川敏英,
草野正一, 工藤 祥, 酒井邦夫, 三橋紀夫,
渡会二郎各委員
欠席: 荒木 力, 池添潤平, 石口恒男, 塚塚英雄,
竹田 寛, 西村恭昌, 平岡 武各委員

議 題;

1. 教育講演のあり方について

竹田委員の作成した教育講演のデータベース(日本医学放射線学会総会, 秋季臨床大会, 放射線腫瘍学会, 核医学会の各5年間のデータを含む)に、今後のデータを集積していく。この際、冬季セミナーの教育講演, シンポジウムについても今年度以降のデータを順次含めていく。データベースは学会事務局に保存し、大会長にデータベースを送付すると共に、教育講演についてのsuggestionを行う。

2. 卒後研修Super Rotation採用時の研修のあり方について

専門医認定委員会とのすりあわせが必要なことから、今後同委員会と協議していく。

3. 第37回日本医学放射線学会秋季臨床大会アンケート結果について

第37回秋季大会での教育講演のアンケート結果が図表に纏められ報告された。今後の教育講演のアンケート形式については、大会長に一任するが、より良いものへと変更していく。なお、各教育講演への参加者数を調査しておくことも重要である。また、各演者にその結果をフィードバックすることも必要である。

4. その他

今後の教育講演についてのアンケートを評議員へ送付し、その

データベースを作成することも重要であり、次期教育委員会への
申し送り事項とする。

平成14年度第1回広報委員会議事録

日時：平成14年4月5日(金)，12：00～13：00

場所：神戸国際会議場303号室

出席：山下 孝(担当理事)，西谷 弘(委員長)，
安藤 裕(副委員長)，岡田 進(副委員長)，
江本 豊，野崎美和子各委員

欠席：山田龍作(担当理事)，中村健治，横倉稔明，
吉岡哲也，本田憲業，煎本正博，尾川浩一，
村山貞之，山田章吾，市川和雄各委員

1. 前回の議事録を確認し，承認した。

2. メールマガジンについて

現在，3,000名くらいの会員が登録されている。

名簿を作成する場合には，メールアドレスを調査して，メール
マガジンを不要の場合のみ，チェックをしてもらう。

試験的にメールマガジンとは別に，オピニオン(学会員の意見を
述べる)のメーリングリストを作成し試験運用する。この場合，オ
ピニオンのメーリングリストは，掲示版の代役とする。

メールの発信者は，必ず以下の形式をメールの先頭に付ける。

発信者：，所属：，メールアドレス：，会員番号：

モデレーターは，西谷，安藤が担当する。2カ月をめどとする。

(6月末まで)

江本がメーリングリストを準備する。

3. ホームページ

会告：メディカルトリビューンがやりたいと言っている。

しかし，ホームページを事務局がしっかり管理するべきであろう。

メディカル・トリビューンにホームページを頼むよりも，事務局機能
を強化すべきであろう。この点については，さらに検討を続ける。

4. 広報誌

岡田よりサンプルを見せて，印刷を田辺に頼んでいる。広報誌
の名称を「ラジオロジイ」とすることに決めた。西谷，野崎が内容
をつめて，理事会で許可を得ることにする。今後の広報誌の発行
頻度は，原稿料が払えないので，1年に1回程度を目指す。

5. 広報のポスター

著作権で引っかかっている。担当者に確認することになった。

6. 広報委員として山下孝委員に再任いただくことを確認した。

次回は，6，7月頃を予定する。

議題：広報誌

オピニオン・メーリングリストの結果

その他

平成14年度第1回将来計画委員会

日時：平成14年4月5日(金)，12：00～13：00

場所：神戸国際会議場304号室

出席：石垣武男(委員長，担当理事)，渡会二郎，
根本健二，松山正也，原田潤太，松井 修，
加藤憲幸，榎林 勇，鳴海善文，園村哲郎，
吉田祥二，森 宣，徳丸直郎各委員

欠席：打田日出夫(担当理事)児玉芳尚，増本智彦，
利波久雄，黒田昌宏，松浦昌宏，村山貞之各委員

議 事：

1. 学会誌の将来計画委員会答申に対する理事会見解の説明がな
された。

2. 春の総会および秋季大会のシステム化と学会事務の充実・機
能アップに関して事務局・常設委員会やその継続性について検討
した。

3. 評議員・代議員の選挙制度に関し，再度委員会で検討する必
要性が述べられた。

4. 関連学会の開催日，開催場所に関して，学会としての連携・
情報が必要であり事務局機能充実の必要性が述べられた。

第8回医療事故防止委員会議事録

日時：平成14年4月5日(金)，12：00～13：00

場所：国際会議場305室

出席：平松慶博理事(委員長)，甲田英一(副委員長)，
高山 誠，成松芳明，廣川 裕，本田憲業各委員

欠席：板井悠二理事，遠藤啓吾理事，隅崎達夫総務理事，
山下 孝理事，吉川 宏，橋本 統各委員

議 事：

1. 第7回議事録を承認した。

2. 放射線関連事故，事例集に造影剤副作用による死亡例を記載
する。

3. 最終決定をみた指針をホームページに収録する。また日本小
児放射線学会および日本放射線科専門医会ニュースへの指針の転
載が認められた。

4. 今後の方針

a) 造影剤使用に関するインフォームドコンセント用雛型を作成
する。

b) 放射線技術学会から本委員会にオブザーバーを招請する。
以上

第62回健保委員会・第93回健保実行委員会・ (第7回専門医会保険委員会)合同委員会

日時：平成14年4月6日(土)，12：00～13：00

場所：神戸ポートピアホテル本館2F コスモポリタン

出席：宗近宏次(委員長)，遠藤啓吾(担当理事)，
足立秀治，五十嵐義晃，煎本正博，大川元臣，
河野 敦，梶原康正，久保敦司，笹井啓資，
佐藤守男，関谷 透，高橋正樹，田村正三，
土器屋卓志，蓮尾金博，早淵尚文，福田国彦，

水沼仁孝各委員

欠 席：阿部公彦(担当理事), 油野民雄, 大友 邦,
日下部きよ子, 佐々木康夫, 渋谷 均, 田中良明,
古井 滋各委員

配布資料

1. 診療報酬改定 抜粋
2. 診療報酬改定要望書
3. 日医ニュース
4. IVR学会と改名の要望書

議 事

1. 前回の委員会の議事録を確認した。
2. 4月1日からの診療報酬改定に関して, 水沼委員から放射線診断, IVRについて, 遠藤理事から核医学について, 土器屋委員から放射線治療についての説明があった。
3. IVR学会と連名で疑義解釈委員会に「胆道系インターベンションにおけるガイドワイヤーなどの医療材料の実費加算について」要望書を提出したとの報告があった。
4. 学会から今回の改定で大きな問題があると判断される以下の3点について厚生労働省, 日本医師会に要望書を送ることにした。
 - 1) 画像診断, 特にMRI撮影料の引き下げについて
 - 2) 画像診断管理加算について
 - 3) 血管塞栓術について
5. 次回は秋期大会(秋田)期間中に開催予定

第61回電子情報委員会議事録

日 時：2002年4月6日(土), 12:00~13:00
場 所：神戸国際会議場 3階303会議室
出 席：石垣武男(委員長), 安藤 裕(副委員長),
稲邑清也(副委員長), 煎本正博, 江本 豊,
木村通男, 紀ノ定保臣, 黒田知純, 佐々木康夫,
佐古正雄, 澤田 敏, 島本佳寿広, 滝沢正臣,
西谷 弘, 三宅秀敏, 小寺吉彦(JSRT),
倉西 誠(JSRT), 松井美楯(JSRT)各委員
欠 席：池添潤平, 大山永昭, 越智 誠, 清水健治,
宮坂和男, 森 宣各委員

資料：

- (1) 第60回議事録
- (2) 電子情報研究会, 第2回遠隔画像診断部会
- (3) CyberRad資料(概要, 案内チラシ, アンケート用紙, Technical Framework)
- (4) 標準化対応小委員会 平成13年度報告
- (5) SR小委員会の発足に関する提案
 1. 前回の議事録が特に修正なく, 承認された。
 2. 第2回遠隔画像診断部会
煎本委員より第2回遠隔画像診断部会の計画が報告された(資料2)。6月23日(日)午後1時から午後5時, 場所：順天堂大学有山講堂で行うことが決定した。内容は, 以下の通り。
 - (1) 現状調査報告 煎本

- (2) 小規模システム 2名くらい 推薦をお願いします。
- (3) 厚生労働省 Teleradiologyについて厚生労働省の考え方
- (4) 遠隔放射線診断を依頼している先生方の指定発言 推薦をお願いします。

(5) アメリカteleradiologyの現状

岡崎宣夫先生(現在, アリゾナ大学・名古屋大学非常勤講師)この大筋に沿って計画を進めることになった。具体的な演者については, メーリングリストに流すことになった。

2. 秋季臨床大会について

- 2.1 電子情報研究会 9:30~11:30am
パネルディスカッション「IHE-J」安藤が原案を作成する。
- 2.2 合同シンポジウム：遠隔画像診断 14:30~17:30pm
第2回遠隔画像診断部会と内容が一部重複するが, 参加者はそれ程重複しないと思われるので, このまま準備を進めることになった。

3. 小委員会報告

安藤：CyberRadについて(資料3)説明があり, 参加人数は約2500名, アンケートの回収枚数は, 約170であった。テーマ展示, 一般講演ともに来場者数は, 昨年より増加した。

稲邑：標準化について報告があった。

(1) ISO TC215ヘルスイノベーションWG4セキュリティはPKIを承認

DICOMマスクフォースは存続し, DICOM規格をISO標準とするパイロットプロジェクトを進める

(2) IIRA DICOM委員会

最近のSupplementドラフトの状況とSR, IHEの台頭について報告があった。

(3) S&C WG14「DICOM国内対応」

今後SR, IHE, 遠隔医療を中心に活動し, 中小医療機関へのベネフィットを考慮する。

4. 診断報告書検討小委員会を稲邑, 西谷委員が提案し, 小委員会を立ち上げることを承認した。

次回6月23日10時より

議 題：ガイドライン

電子情報研究会

画像診断報告書検討小委員会

平成14年度第1回倫理委員会議事録

日 時：平成14年4月6日(金), 12:00~13:00
場 所：神戸国際会議場 304号室
出 席：林 邦昭(委員長), 渡会二郎, 小川敏英,
杉村和朗各委員
欠 席：山田龍作(担当理事), 鈴木謙三, 石口恒男各委員
議 事

1. 外部委員になっていただいた上山一和弁護士にご挨拶をいただく予定であったが, 都合により欠席された。学会の倫理委員会のあり方についてお話ししていただき, 御意見をお聞きしたいと考えていたので残念であった。

2. 女性委員の必要性について、又、女性委員は必ず外部委員である必要があるのか、などについても上山弁護士にお聞きしようと予定していた。従って女性委員の選出も次回以降に持ちこされた。

3. 現在までは倫理委員会に持ち込まれた議題はない。

倫理委員会として取り扱う可能性のあるものとして

- 1) 演題の倫理性に関すること
- 2) インフォームド・コンセントに関すること
- 3) リピオドールなど保健適用外薬剤の使用に関すること
- 4) 医療事故防止に関すること

などが考えられる。しかし現時点で取り組みの急がれている問題はない。

引き続き審議事項とする。次回は上山弁護士にぜひご出席いただけるよう必要な処置を講じたい。

案 内

日本医学会への加盟申請についての公示

日本医学会

日本医学会への加盟申請については、日本医学会内規により下記のとおりに公示する。

記

1. 加盟申請書受付期間

自 平成14年 5月15日

至 平成14年 7月31日

2. 加盟申請書には、概ね、下記の事項を記載または添付する。

(1) 目的・沿革(学会設立年、歴史的経緯等)

(2) 分科会としての独自性・存在の必要性

(国内の他学会との関係・関連分野の学会名)

(3) 会員構成

・会員総数

・会員構成(医師、非医師の会員数、役員における医師・非医師の構成比率)

・学会への会員入会資格

(4) 学術集会(年間開催数、参加者概数)

(5) 機関誌(英文誌・和文誌の最近5年間の年間発行回数、総頁数、発行部数)ならびに査読制度の有無

(6) 国際性(国際学術集会の主催経験、国際学会との関連(支部等になっているか)、欧文機関誌の発行等)

(7) 学会の運営状況(経理、役員構成)

(8) 定款または会則

(9) 役員名簿

(10) その他参考となる事項

3. 加盟申請審査・決定時期(予定)

新規加盟審査委員会で審議の上、平成15年2月開催の日本医学会定例評議員会において審査決定する。ちなみに平成13年度は1学会のみであった。

4. 申請書類

申請書は、下記のとおり日本医学会事務局に返信用封筒(角2封

筒に160円切手貼付)を添えて請求のこと。

[日本医学会]

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16

日本医師会館内

TEL 03-3946-2121(代)内線3241~2

学会・研究会等のお知らせ

1. 第21回 臨床熱画像検査法講習会

2. 日 時: 6月21日(金)13:00~17:30

6月22日(土)9:00~11:30

3. 会 場: メルパルク沖縄 C会場

4. 申込先, 問い合わせ先:

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1(TEL03-5841-3388)

東京大学, 医学系研究科, 医用生体工学講座内

日本サーモロジー学会講習会事務局

1. 第24回MR基礎講座

2. 日 時: 平成14年 8月2・3日(金・土)9:00~17:00

3. 場 所: キャンパスプラザ京都[京都市下京区西洞院通塩小路下ル, JR京都駅(烏丸口)下車徒歩5分, 駅ビル駐車場西側, TEL: 075-353-9120]

4. 連絡先:

〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-24-9

五反田パークサイドビル 4F

日本磁気共鳴医学会事務局

Tel: 03-3443-8622 FAX: 03-3443-8733

1. 第3回 肺生検研究会演題募集

2. 日 時: 2002年 9月28日(土)13:00~

3. 場 所: 大阪国際会議場 大阪市北区中之島 5-3-51

4. 問合せ先: 愛媛大学医学部放射線医学講座内事務局
安原美文

〒791-0295 愛媛県温泉郡重信町志津川

TEL: 089-960-5372, FAX: 089-960-5375

E-Mail: radiothr@m.ehime-u.ac.jp

1. 第3回Sentinel Node国際会議

2. 日 時: 平成14年11月16~18日

3. 場 所: 横浜国際会議場

4. 連絡先: 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部外科

Tel: 03-3353-1211(ex62269)

Fax: 03-3353-6440

Email: snns@sc.itc.keio.ac.jp

http: www2.convention.co.jp/isn/